

第16回会合におけるヒアリングの取扱いについて

参考資料16-1

- 本ワーキンググループについては、開催要綱において、原則公開することとされており、主査が必要と認める場合については、非公開とすることが可能となっている。
- KDDI株式会社及び楽天モバイル株式会社より、以下の理由により一部を非公開としたい旨、申し出があったところ、主査の了解により、本日の会合（第16回会合）における質疑応答については、非公開にて実施することとする。
- なお、本日の会合の議事録については、開催要綱に基づき原則公開とすることしながらも、事業者が非公開を希望する理由に鑑み、主査が必要と認める範囲において、一部を非公開とすることとする。

事業者名	非公開を希望する理由
KDDI株式会社	質疑応答における弊社回答が、弊社の機密情報や非公開情報に触れる可能性があるため。
楽天モバイル株式会社	ヒアリングにおける自社の説明や詳細な質疑応答の内容次第で自社の機密情報に触れる可能性があるため。

（参考）「利用者情報に関するワーキンググループ」開催要綱（抜粋）

5 議事・資料等の扱い

- （1）本WGは、原則として公開とする。ただし、主査が必要と認める場合については、非公開とする。
- （2）本WGで使用した資料は、原則として、総務省のウェブサイトに掲載し、公開する。ただし、公開することにより、当事者若しくは第三者の利益を害するおそれがある場合又は主査が必要と認める場合については、非公開とする。
- （3）本WGの議事概要是、原則として公開する。ただし、主査が必要と認める場合については、非公開とする。